

第8回 長野広域連合ごみ処理施設整備計画等専門委員会 議事録

[日 時] 平成 23 年 6 月 2 日 13:30～16:45

[会 場] 東京ステーションコンファレンス

[出席者] 専門委員 6名

長野広域連合 7名

千曲市 2名

日本環境衛生センター 1名

八千代エンジニアリング 4名

委員会協議概要

(1) 報告事項

事務局から、最終処分場の追加調査結果について報告を行った。

(2) 第7回委員会議事録の承認

議事録について承認された。

(3) B焼却施設基本計画について

事務局から、基本計画策定の進め方、環境影響評価に必要な施設緒元について説明し、協議を行った。

<委員意見等>

- ・余熱利用計画など基本設計的な問題点を整理し、ポイントを意識して技術資料を徴取してほしい。
- ・焼却炉の基数は50t×2炉が一番考えやすい。
- ・東日本大震災では、自家発電設備がある施設は運転を継続できた。自立的な施設にするために自家発電は必要だと思う。
- ・候補地は、しなの鉄道に隣接し、新幹線、高速道路が近くに位置しているが、東京でも鉄道や高速道路に隣接している清掃工場がいくつかあるので、敷地面積を含めて立地条件として問題ない。
- ・環境影響評価の計画値について、現時点での設定としては法規制値でよいのでは。
- ・排水について、下水道が布設される計画があるのならば、下水道放流を考えるのがよい。
- ・煙突の高さは当面59mを基本として検討していく。

(4) 専門委員会での課題及びスケジュールについて

事務局から、今後の会議開催予定について説明を行った。

以上